

クロアチア情勢

主な出来事

2016年8月

内政

- 1日、社会民主党(SDP, 野党第1党)を中心とする「国民連合」は、次期議会選挙に向けた選挙プログラムを発表。
- 1日、権利党(HSP)、真の権利党(HCSP)及び家族党(OB)の3党は、次期議会選挙に向けた右派連合「変革連合」を結成。
- 4日、アンテ・スタルチェビッチ権利党(HSPAS, 与党第3党)、国家刷新民主連盟(DESNÖ), クロアチア・カトリック教徒民主同盟(HKDU), 権利連合党及びクロアチア民主党の5党は、次期議会選挙に向けた右派連合「祖国連合」を結成。
- 5日、クニン(当国中部)において、「嵐」作戦の21周年を祝う「勝利と祖国感謝の日」記念式典開催。グラバル＝キタロビッチ大統領、オレシュコビッチ首相、ライネル議会議長他、政府要人が多数出席した。
- 9日、「ミラン・バンディッチ365」(与党)、「人民党ーリフォーミスト」(野党)、「ニューウェーブ」、ステイエパン・ラディッチ農民党及び年金生活者統一ブロック(BUZ, 与党)の5党は、次期議会選挙での選挙協力合意に署名。
- 8－9日、イストラ民主会議(IDS, 野党第3党)、プリモリエ＝ゴラン連合(PGS)及び「リエカ党のための候補者リスト」の3党は、第7選挙区及び第8選挙区における次期議会選挙での選挙協力合意に署名。
- 10日、スラボニア＝バラニャ・クロアチア民主連盟(HDSSB, 野党)及び保守党(HKS)は、第4選挙区及び第5選挙区における次期議会選挙での選挙協力合意に署名。
- 12日、議会選挙に向けた、プレンコビッチ・クロアチア民主同盟(HDZ, 与党第1党)党首及びミラノビッチSDP党首の与野党2大政党党首による公開テレビ討論実施(二大政党党首による公開討論は過去13年間以上実施されていなかった)。
- 15日、9月11日実施の議会選挙に向けた公式選挙キャンペーン期間開始(9月9日深夜0時終了)。
- 17日、HDZは、次期議会選挙に向けた選挙プログラム「経済成長、新しい職業及び社会的公平」を発表。
- 23日、議会は、「全体主義による全ての犠牲者に対する追悼日」に際し、議会会堂で初めての記念会合を実施。(8月23日は、「全体主義及び権威制度による全ての犠牲者のための欧州追悼日」として欧州議会が設定している。)

- 23日、ミラノビッチSDP党首は、各退役軍人団体の代表達との会合を実施。
- 30日、ブコバル(当国東部)において、失踪者国際デーに際し、当国で初となる紛争時行方不明者のためのモニュメント設置に係る除幕式を開催。デウル大統領顧問、メドベド退役軍人相が出席した。
- 31日、政府は、セルビアのEU加盟交渉チャプター23及び24に関する条件達成度をモニタリングする政府委員会の第2回会合を実施。
- 31日、政府は、閣議においてクロアチア放送(HRT)法の改正を賛成多数(賛成11, 反対6)で承認。右により、コバチッチ現HRT社長代行の任期が10月1日まで延長されることとなった。

外交

- 1日、セルビア外務省は、クロアチア最高裁によるグラバシュHDSSB所属議員の有罪判決(セルビア人に対する戦争犯罪)の無効決定及びミロ・バレシッチ(注:1970年代に、駐スウェーデン・ユーゴスラビア大使を殺害した罪でスウェーデンにおいて終身刑(後に18年に減刑)が下されたクロアチア系移民。1991年クロアチアにて没。)の銅像設置(7月31日、パコシュタネ町及びミロ・バレシッチ協会主催で、同人の出身地である当国南部ドラゲ村にて除幕。)に対して、在セルビア・クロアチア大使館宛に抗議書簡を発出。また同日、モンテネグロ外務省も、右銅像設置に対して在モンテネグロ・クロアチア大使館宛に抗議書簡を発出。
- 3日、ミュンヘンの高等地域裁判所は、1983年ミュンヘンのクロアチア移民ジュレコビッチ氏殺害に関与した疑いで審議を行っていたペルコビッチ元ユーゴ国家安全保障局員及びムスタチュ同元クロアチア支部長官に対し、終身刑の第1審判決を言い渡した。
- 4日、プシッチ前第一副首相兼外務・欧州問題相は、本年実施される国連事務総長選挙からの立候補辞退を表明。
- 5日、コバチ外務・欧州問題相は、同日クニン(当国中部)で実施された「嵐」作戦の21周年を記念した「勝利と祖国感謝の日」式典開催中に、同市内でセルビア国旗が燃やされたことに対するセルビア外務省からの抗議書簡の受け取りを拒否。
- 23日、EU加盟国の庇護申請者再移転プログラムに基づき、庇護申請者10名(シリア国籍)がギリシャからザグレブに到着。
- 25-26日、ドゥブロブニク(当国南部)において、「ドゥブロブニク・フォーラム」開催。「3海域(three seas)イニシアティブに関する共同声明」が発出された(25日)。また、クロアチア、アルバニア、ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)及びモンテネグロとアゼルバイジャン企業SOCAR石油・ガス社の間で「イオニア・アドリア・ガス・パイプライン(IAP)」敷設プロジェクトに関する覚書(MOU)が署名された(26日)。
- 27日、オレシュコビッチ首相は、メルケル独首相主催の非公式首脳級会合出席のため、ベルリンを訪問。同会合には、ケルン墺首相、ボリスフ・ブルガリア首相、ツェラル・スロベニア首相も出席。

●29日、ブリエビッチ国防相、シュンドフ・クロアチア軍参謀総長及び当国駐英大使の出席の下、クニン（当国南部）近郊において、クロアチア軍及び英国軍小隊による合同演習デモンストレーション実施。

経済

●18日、クロアチア雇用者連合（HUP）は来月の議会選挙に向け各政党に対し7つの分野（①財政再建、②行政改革、③非効率な産業分野の合理化、④投資環境の改善、⑤司法改革、⑥国有企業と国有資産活用の効率化、⑦教育システムの近代化及び労働市場改革）において政策対応を求める提言を行った。

●18日、ユーロスタットはEU加盟国の7月の物価指数（HICP）を発表。EU全体として緩やかな物価上昇が見られるなか、クロアチアは前年比1.1%と最大の下落率を示した。

●31日、クロアチア統計局は2016年4－6月期GDPを発表。本年第2四半期の経済成長率は前年比2.8%となり、7四半期連続のプラス成長となった。

主要経済指標

（2016年月次データ、対前年同期比（除く失業率）、政府統計局発表）

輸出総額 （6月）	輸入総額 （6月）	貿易赤字 （6月）	工業生産高 （7月）	インフレ率 （7月）	失業率（登録制） （7月）
+3.4% （435 億クーナ、 58 億ユーロ）	+4.1% （719 億クーナ、 95 億ユーロ）	+5.3% （284 億クーナ、 38 億ユーロ）	+1.2% （6月：4.1%）	-1.5% （6月：-1.6%）	13.3% （6月：13.6%）

本クロアチア情勢は、クロアチアの政治・経済情勢を中心に各種報道、発表をとりまとめたものですので、記載事項については在クロアチア日本大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。